

# みんなで応援！県北の家庭教育！

発行所

福島県教育庁県北教育事務所  
福島市杉妻町2番16号  
電話 024-521-2814

家庭教育応援企業  
にお勤めの皆様へ

家庭教育応援企業にお勤めの皆様には、日頃より本県の家庭教育の推進につきまして、御協力いただき厚くお礼申し上げます。

今回の通信では、応援企業の皆様の取組と今年度の県北教育事務所の取組について紹介いたします。今年度も残すところあと少しとなりました。これからも地域社会や学校、行政、企業等と力を合わせて家庭教育を応援していきたいと思っておりますので、皆様の御協力、よろしくお願いいたします。



## 家庭教育応援企業の「取組事例」（活動報告）紹介！

企業の皆様には、「職場の家庭教育推進」「生活習慣向上の取組」「学校行事への参加促進」「職場見学・体験の実施」「地域行事への協力・支援」などの面から家庭教育を応援いただいております。今回は、シオヤユニテック株式会社様と伊達物産株式会社様の取組の様子をまとめた活動報告書を紹介いたします。

### シオヤユニテック株式会社（福島市松川）

11月5日(土)、地元の青少年健全育成推進会による企画「生きる力をはぐくむ事業」で下川崎小学校の児童12名と保護者1名、事務局4名の皆様が工場見学にいらっしやいました。

ネジ穴に合うボルトを探してねじ込んでみたり、溶接で鉄が溶けるところを見ていただいたりして子どもたちが、興味津々に見たり聞いたり触ったりしている様子が印象的でした。

子どもたちが一番気に入ってくれたのは、スクラップボックスから拾った薄いアルミ板の切れ端です。低学年のお子さんでも頑張れば手で曲げることができるので、工場見学の間ずっと手で触っていました。



お土産に鉛筆立てをプレゼントしました。  
使っていただけるかな？

## 伊達物産株式会社（伊達市梁川町）

12月18日(日)埼玉県「もぐもぐ教室」に、小学生向けの食育講座の講師として、清水建志社長が参加しました(弊社東京営業所所長も参加)。「もぐもぐ教室」は親子で食べ物の原点を体験するため、農業体験や料理教室、食事会などの機会を作っています。

2010年から福島産のブランド鶏、伊達鶏を丸ごと使って「命をいただく学習・伊達鶏のローストチキンをつくろう」がスタートしました。鶏を丸のまま感じて、解体もして「私たちは命をいただいているんだ」とみんなで実感していただきます。せっかくの命、大切に、おいしくいただく指導をしていただくのは、毛塚シェフです。丸鶏はローストチキンにするために、みんなは脚(レグ)をシンプルに塩・コショウして油を塗ってオープンに。シンプルだからこそ、鶏肉の美味しさが伝わります。丸鶏はシェフがさばき方を教えてくれて、これもみんなで試食しました。

その後、伊達物産株式会社清水社長からお話をしました。同時に11月にNHKに取材され放送されたビデオも放映しました。「いままで輸入に頼っていたエサ代がとて高くなって、我々農家は困っている。けど、私たちは命をいただかないと生きていけない。鶏も野菜も命。これを残さず美味しく食べてほしい」とのことばに会場から拍手が沸きました。



## 家庭教育応援企業の取組をお知らせください

家庭教育を支援するための職場環境づくりや、CSR(企業の社会的責任)、地域貢献活動等による取組、社内研修等を活用した子育て講座の実施など、様々な取組を実施している企業が増えています。働く保護者にとって、子育てや家庭教育の充実のためには、職場の理解や協力、ワークライフ・バランスの推進が欠かせません。また、企業にとっても、子どもたちの健やかな成長は、次代を担う人材の育成として、とても重要です。

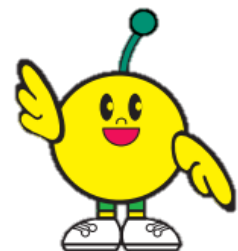
家庭や地域だけでなく、こうした企業の取組の推進が益々求められています。家庭教育を充実させるためには、家庭や地域だけでなく地元企業の家庭教育への理解や積極的な参加が必要です。

そこで各社の素晴らしい活動の様子をHPや企業通信等で広く紹介し、効果的な取組等を共有することで家庭教育の充実を目指していきたいと考えています。

ぜひ、活動報告書にてお知らせください。

日程を教えていただければ取材にも伺います!!

待ってます!



## 県北教育事務所の今年度の取組を紹介します

### 「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

平成14年度より実施しているこの事業は、子どもと地域の大人、子どもと子どもなど、家庭や地域における人と人のかかわりの中で感じた思いや願いなどを十七音で表現することとおして、子どもの豊かな心を育成するとともに、人と人との「絆」を強め、家庭や地域の教育力の向上を図ることを目的として行っています。

令和4年度の県北域内全体の応募総数は、5,445点でした。県優秀作品は下記のとおりです。県北地区第一次審査を通過した作品271点を作品集にまとめましたのでぜひご覧ください！

**【絆部門】**  
**最優秀賞** つくりたい きれいなちまき 母さんと  
 子に伝え 三角ちまき 祖母の技

作品集は下記の二次元コードから  
 見るすることができます。



**【ふるさと部門】**  
**優秀賞** 釣り竿の 先に広がる 青い海  
 幾千の 涙の先に 子の笑顔  
**佳作** うまいもも えらぶてんさい カブトムシ  
 桃の出来 今年も確認 祖父と孫

### 「家庭教育支援者地区別研修会」 <11月16日(水) 於：自由民主福島会館>

昨年度から、「メディア(SNS)コントロールの在り方について」を県北域内家庭教育テーマとして事業を行ってきました。その中で、タブレット学習が始まったことによるインターネット依存の深刻さが話題となりました。

今後インターネット依存は、どんどん深刻になると考えられます。そのため、子どもがネットやゲームにはまってしまう心理や、ネット依存にならないために家庭でできる対応のポイントを家庭教育支援者が学ぶことのできる機会とするため実施しました。



詳しい研修会の内容については県北教育事務所のホームページに載せていますので、左記二次元コードよりぜひご覧ください。

この他にも県北地域における家庭教育を推進するため、家庭教育講座を開催し、家庭での実践活動が図られるよう資料を提供し、講座の運営等を支援する「親子の学び応援講座」を実施しました。今年度は、川俣地区、伊達市立伊達中学校で行いました。  
 詳しい内容は県北教育事務所のホームページ、もしくは右記二次元コードよりご覧ください。

<親子の学び応援講座>

川俣地区



伊達中学校



家庭教育応援企業  
代表者の皆様へ




## 子どもたちのリアルな体験活動充実のために！

次代の社会を担う者として新たな価値を創造する力、対立やジレンマを克服する力、責任ある行動をとる力等を身に付けていくためにも、子どもたちのリアルな体験活動が重要といわれています。

しかし、少子化や核家族化、デジタル化が進む中、現代の子どもたちには、リアルな体験が不足しています。さらにコロナ禍でこの傾向に拍車がかかっています。

このような状況を踏まえ、文部科学省では、地域や企業等の力を巻き込んだ「リアルな体験」の機会の充実を図ることなどを盛り込んだ「教育進化のための改革ビジョン」を令和4年2月に公表しました。

そこで、県北教育事務所といたしましても、子どもたちの「リアルな体験」の推進に向けて、皆様から**企業情報（企業名、所在地、業種等）**を提供していただき、学校と地域や企業をつなぎたいと考えております。  企業通信第35号参照

つきましては、後日、依頼文を送付いたしますので、ご検討よろしくお願いたします。

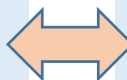
### 地域学校協働活動による体験活動のメリット

#### <子どもたち>

- ・自尊感情、自己肯定感、自律性、協調性、積極性といった非認知能力の上昇
- ・物事に対する意欲の向上

#### <企業>

- ・所属する企業の社会的役割の再認識
- ・社員の労働意欲の向上
- ・将来の後継者育成
- ・地域における企業の認知度向上



実社会での経験や専門知識を活かして、将来の社会を支える子どもたちの未来と一緒に応援しませんか？

### 【県北の家庭教育応援企業／192社 (R5.1現在)】

※ 企業名については県北教育事務所HPをご覧ください。  
(二次元コードからも見ることができます)

県北教育事務所ホームページ

- 社会教育の部屋「家庭教育の充実に向けて」
- 家庭教育「家庭教育応援企業一覧」

☆ 企業名をクリックすると企業のホームページを見ることができます。ぜひご覧ください。

